

スタイルのある家に住む  
「ライヴス」

こだわりの実例に学ぶインテリアスタイル

# LIVES

Living & Lifestyle Magazine

心地いい居住空間を手に入れるヒントが満載!

## 個性派たちの 部屋づくり

クリエイターの  
私的空間

OMNIFIC 富田克己  
newt 奈雲裕介  
未来 鈴木真子+宮村周子  
graf 荒西浩人 ...



自分サイズの豊かな暮らし  
小さな家がいい

建築家・黒崎敏  
「賢い小さな家の建て方」

入居可能! デザイン物件レビュー  
要注目のショップやギャラリーが集結  
東神田・アガタ竹澤ビル

こだわり派にオススメしたい  
インテリアショップカタログ

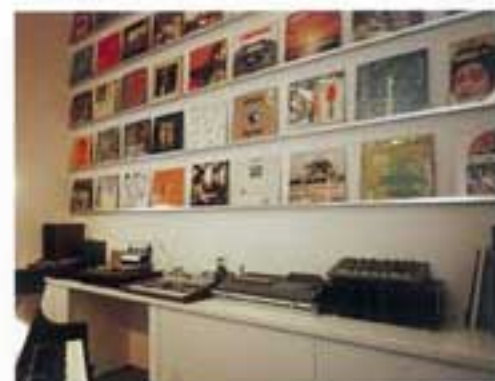
VOL.  
47

OCT.-NOV.  
2009  
980yen



### こだわりの音がゲストを迎える DJブースのあるリビング

LDKの真ん中にご主人の趣味であるDJブースを配置。インテリア性の高いオーディオ機器と空間のリネーションの色合いがマッチして、意にこたえる住み手のキャラクターを表現しインテリアとなっている。



### 芸術好きな夫婦のための アートを楽しむ住宅

カラフルなレコードジャケットが並び、ピアノと録音機器を備えた音楽室。シンプルで白い空間にディスプレイされたアート。生活空間は2階に集約し、1階を芸術空間とした、「アートを楽しむ住宅」。



### ブックタワーに AVシアター コレクションを飾る家

「本がいっぱいあるんです」という言葉から生まれたこの家から目を惹くブックタワー。この家のシンボルに、豊富なDVDが並ぶAVシアターも設置。ディスプレイされたコレクションそのものが家の個性となっている。

Photo by Mousumi Okawa

## ライフスタイルが家の顔になる。 家は住み手の自己表現。

住み手の価値観やライフスタイルを投影した住宅デザインが求められる今、住み手の趣味や個性を汲みとり、深くデザインに融合させるフリーダム。こうして生まれた家は、毎日の生活をさらに活性化させてくれるステージとなる。

text\_Ain Marube photography (人物) Atsuhiko Izumi

既製品ではない自由設計の家づくりが定着すると同時に、自分たちだけの価値観を投影した住宅デザインが求められるようになってきています。住み手のライフスタイルを巧みにデザインに落とし込む設計に定評のあるフリーダム。代表の鎌澤正也氏に、こうした家づくりの傾向についてうかがった。

「既製品ではない自由設計の家づくりが定着すると同時に、自分たちだけの価値観を投影した住宅デザインが求められるようになってきています。住み手のライフスタイルを巧みにデザインに落とし込む設計に定評のあるフリーダム。代表の鎌澤正也氏に、こうした家づくりの傾向についてうかがった。」

「家づくりの現場であると同時に、そこに暮らす人の「自己表現」にもなりつつある。こんな観点から家づくりを考えると楽しさは増えると思います。住むことによってさらに毎日が活性化するように家づくりをサポートしていきたいですね」

「住み手を主体とした設計事務所が出て来た影響もあって、今では普通の会社勤めの方も自由設計の家づくりを希望するようになった。昔は家というと先々まで残る財産という考え方もあって冒険できない人が多かったんですが、今のお施主様は良い意味で構えないというか、素直に自分たちの価値観やライフスタイルを家づくりに投影できるところが特徴だとも思います。写真で紹介しているのは読書、音楽やアート、DJプレイといった、お施主様の趣味が設計に反映された住宅。幅広いライフスタイルの方ではなくても、ピアノや楽器からこうした個性的な住宅が生まれるんです。ただ、一時的な趣味が出過ぎると、短い期間しか住めない家になってしまったりも。例えは一つの趣味に対して、十年後も同じように没頭しているか？といったことはシミュレーションし、要望を引き出しつつ、程よいバランスで設計に落とし込んでいくのがフリーダムの役目ですね。」



株式会社フリーダム  
代表  
鎌澤正也氏

LIVES 青木さんがお施主様にプランを提案する時に心がけていることはありますか？

青木「家を建築家自身のつくりたい・作りたいという目的、独りよがりな提案にならないように、いつも心がけていますね。お施主様自身が家の中でどんな風に生活を送っていかれるのか、具体的にイメージできるようなにしています」

LIVES お施主様の要望はどのようにして聞き出すのですか？

青木「どういった家になりますか？と聞いても、自分の欲しい空間を言葉で説明できる方は滅多にいませんから、日頃お施主様がどんな風に生活しているかを細かく聞くようにしています。例えば「リビングで映画を見ている時間がいちばんくつろげる」という方ならば、リビングが家全体の様になってくる。まずはこうしたメインとなる空間をお施主様としっかり共有した状態から、他の空間を派生させていくんです」

LIVES 家を建てる側からすれば、あれも入れたい、これも入れたい、といろんな要望が組み合っただけですが、どうやって整理していくのですか？

青木「私たちの仕事は、既製のマンションの3LDKのような平均的な間取りのボリュームをお施主様のライフスタイルに合わせて変えてあげることなんです。さほど必要のない

## Talk×Freedom vol.2 スタッフインタビュー

フリーダム 東京日本橋事務所  
一級建築士 青木茂実

### 建築家の独りよがりにならない提案を心がけています。

プランニングは家づくりの要。施主の思いはどのようにして設計に落とし込まれていくのか。どうしたら要望をうまく伝えられるのか？  
スタッフインタビュー 2 回目は、フリーダムの青木茂実さんにお話を伺います



空間を欲張って、大切な部分が注ぎされるのとは意味がない。フリーダムにはいろんな住宅を見て、平均的なプランでは面白くないと思った方が乗られるので、実現したいことに優先順位をつけていくと、すぐに納得していただけますね。この家の中で、あなたにとっての一番はどこですか？ っていうことなんです」

デザインのカラールームを決めつけないのがフリーダムの特徴

LIVES 青木さんから見てフリーダムはどんな設計事務所ですか？

青木「事務所のデザインのカラールームを決めつけないのが特徴だと思いますが、お施主様の要望をインプットした上で、いつもより良い形のデザインを考えていますね。デザインが一人歩きするのでなく、お施主様との出会いの上で生まれるという発想なんです。設計力と同時に、お施主様の要望を聞き取るコミュニケーション能力を大切にしているのも設計事務所としては珍しいと思いますね。発注をいただいて慣れるまではお施主様の注文も多いのですが、設計が進むにつれて、たいいてい場合は少ない言葉でコミュニケーションがとれるようになる。これは日頃デザインの上での価値観を共有して、信頼していただけのような訓練をしているからなんだと思います」

LIVES 思いもよらないような

建築家の斬新なプランを期待する人もいるのではないのでしょうか？

青木「たしかに、要望を最大限に汲んでいくことは大切ですが、僕から僕までお施主様の注文どおりに住んでいても面白くない。一方で建築家の創意が過ぎるとして、出来たときは斬新でも後で住みづらくなるようなプランも困ってしまう。フリーダムではこのバランスにいちばん気を付けています。設計する時は、お施主様の要望は活かしながら、同時に新しいアプローチも必ず一つは盛り込むようにしていますね。やはり、家づくりは楽しくてワクワクするものであるべきですから」

住み手が暮らし方を選ぶ幅、をもった住宅をつくりたい

LIVES これからつくっていくべき家はどんな家でしょうか？

青木「個人的にはファンズウィス郡のような、仕切りの無い一室空間に建築の魅力を感じます。構成が単純で、ボリュームも明快な空間。こういった中で、人の暮らしをいかにつくっていくのか。そもそも、住んでいくうちにライフスタイルも変わっていくのが当たり前。だからこそ、あまり住み方を限定しない空間に引かれるんです。シンプルだけど、その中で暮らし方を選べる、暮らし方を変えていける、幅、をもった住宅をつくっていききたいですね」



青木さんが手がけた東京  
都大塚区の木造、柱・土間  
を駆使してくれる文字屋  
のあるリビングが特徴

